

和歌山県立体育館・和歌山県立武道館に係る指定管理候補者について

和歌山県立体育館・和歌山県立武道館の平成28年4月1日からの指定管理者について、募集を行った結果は、下記のとおりです。

なお、指定管理者の指定は、本年12月議会における議決を経た後に行う予定です。

記

1 申請者 平成27年8月27日から平成27年9月9日まで募集を行ったところ、次の1者から申請がありました。

(1) 名称 公益財団法人和歌山県スポーツ振興財団

所在地 和歌山市手平二丁目1番2号

代表者 理事長 山口 裕市

2 和歌山県社会教育施設等指定管理者選定委員会（以下「選定委員会」といいます。）の意見 平成27年9月17日に選定委員会が開催され、公益財団法人和歌山県スポーツ振興財団が指定管理者として適当との意見がなされました。

3 審査の概要

(1) 審査の方法

選定委員会において、申請者の中から提出のあった書類の審査やヒアリングを実施し、あらかじめ定めた審査項目を、審査基準ごとに集計する方法により採点を行いました。

(2) 選定委員会の構成

委員（長）	氏名	役職
委員長	赤松 喜久	大阪教育大学 教授
委員	上野 宏行	学識経験者
委員	岡野 英生	あずさ監査法人 公認会計士
委員	中村 富子	NPO 法人 WAC わかやま 理事長
委員	彦次 佳	和歌山大学 准教授

(3) 採点結果

審査基準	配点	審査項目	個別点	公益財団法人 スポーツ振興財団
1 県民の平等利用の確保 (確保されない場合は失格)	10	①施設の設置目的を十分理解し、県民の平等な利用が確保されているか	10	10
		計	10	10
2 施設効用の最大限発揮	35	①施設運営の提案内容が、施設の設置目的に合致し、利用者の増加に資する具体的・現実的な内容となっているか	15	11.4
		②利用者の意見・要望の把握手法が適切で、施設運営に反映される内容になっているか	10	6
		③自主事業の運営内容が魅力的かつ具体的・現実的で、施設の効用の増進に資する内容となっているか	10	7.2
		計	35	24.6
3 効率的な管理運営	20	①業務要求水準を超える効率的・効果的な内容となっているか	5	3.8
		②経費の節減について具体的で現実的な提案があるか	5	3
		小計	10	6.8
		③提案額の評価(自動計算)	10	10.00000
		計(①+②+③)	20	16.80000
4 管理を安定して行う能力	25	①施設の適切な維持管理を行う内容となっているか (仕様書記載の業務要求水準。施設毎に設定されるチェック表により確認し、確保されていない場合には失格とする。)	10	10
		②財政基盤が安定し、施設管理を効率的・効果的に行う能力を有しているか	10	8.8
		③利用者の安全対策及び個人情報保護管理が適切に行える方針・体制が確立されているか	5	4
		計	25	22.8
5 地域・社会貢献	10	①県内に事務所等を置いているか	6	6
		②法定雇用障害者数等を超過して障害者を雇用しているか	3	3
		③障害者就労施設等から物品等を調達しているか	1	1
		計	10	10
合計			100	84.20000

(4) 総評

ア 施設の維持管理業務を、これまでの実績を踏まえ、財団独自の管理マニュアルを整備し、全職員へ浸透させ、県の要求水準以上で行うという提案であったため、高水準で適切な維持管理が行えると評価した。

イ 多様な資格、経歴を持つ職員の活用、また LED 照明への交換を行うことを提案している等、経費節減に努めていると評価した。

ウ 多種多様なスポーツ教室やイベントを企画、また営業担当者を配置し、積極的に施設の利用者の獲得を図る等の提案であったため、利用者増加につながると評価した。